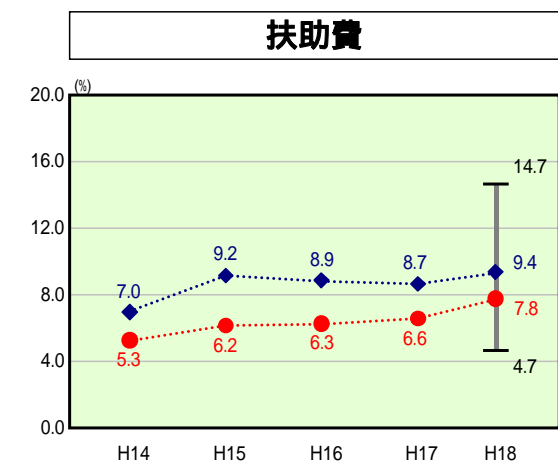
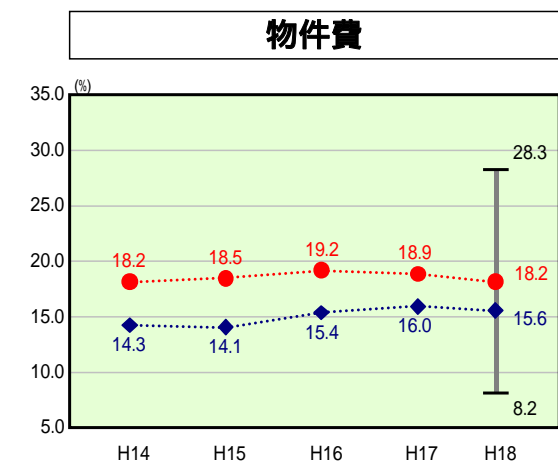
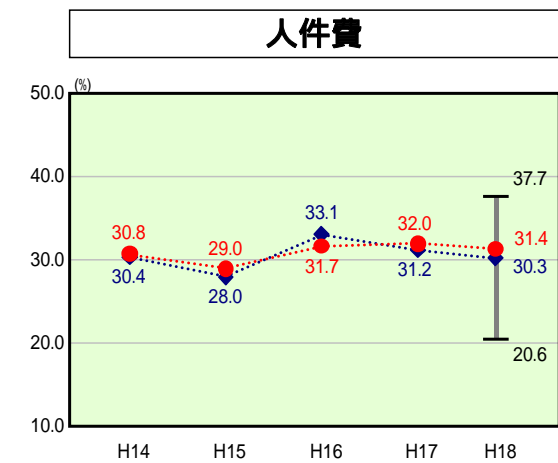
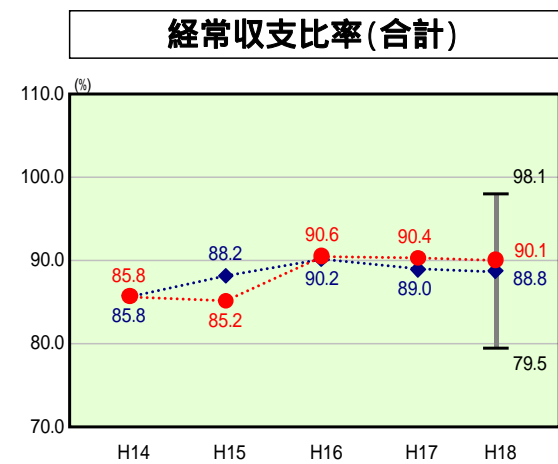


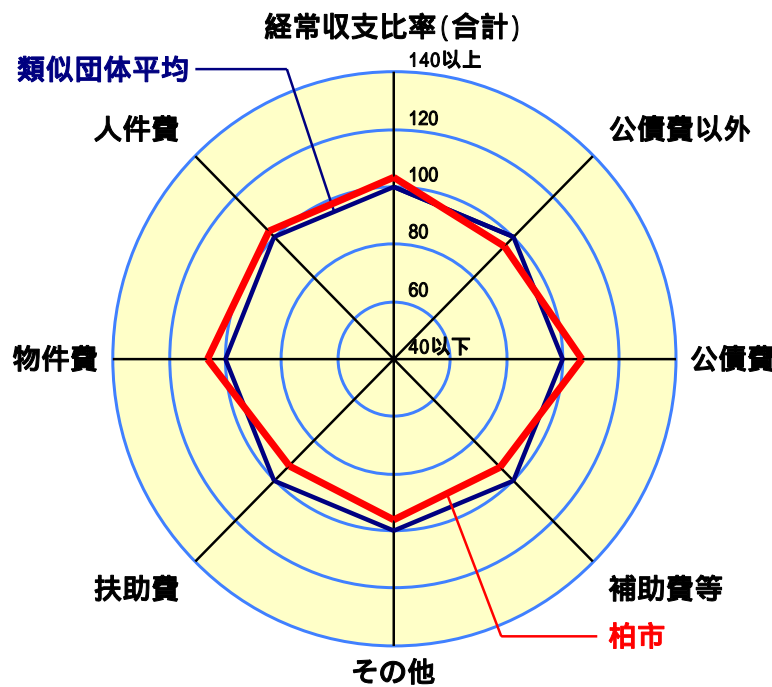
# 歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

千葉県 柏市

## 経常収支比率の分析



人口	381,999人(H19.3.31現在)
面積	114.90 km <sup>2</sup>
歳入総額	97,383,006千円
歳出総額	93,355,594千円
実質収支	3,814,825千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

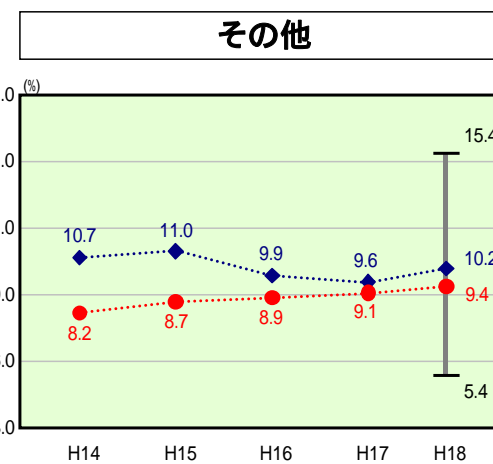
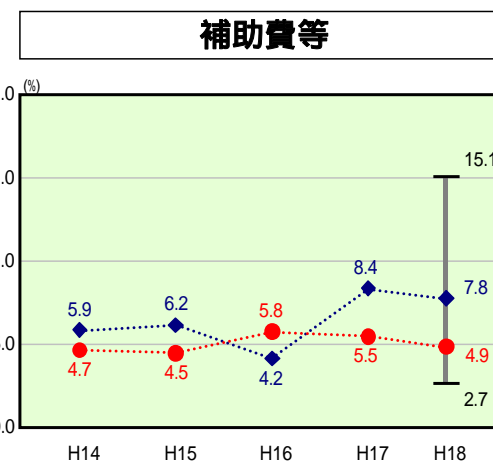
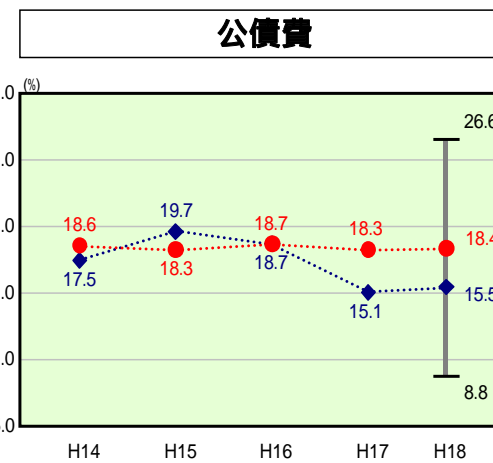
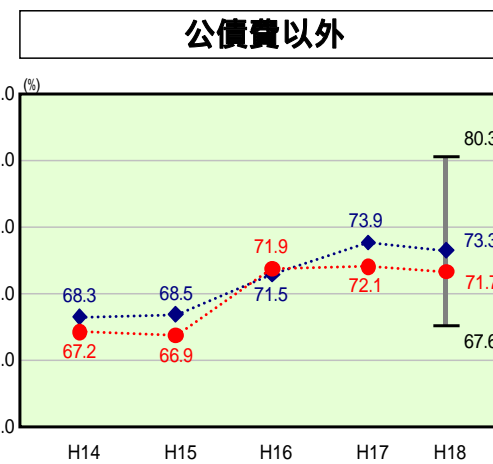
### 分析欄

経常収支比率の分析

- 人件費:平成18年度については給与構造改革を実施する以前の状況であったため、類似団体よりも比率が高い結果となっている。平成19年4月に実施した給与構造改革や市議会議員の定数減等により、今後は人件費の縮減が見込まれる状況であること、定員適正化及び諸手当の見直しを継続することで、更なる人件費総額・水準の適正化に努める。
- 物件費:合併した平成16年度から比率は徐々に改善し、平成18年度は18.2%となっている。類似団体の平均に比べ高い比率となっている主因には臨時職員の賃金が多いことが挙げられるが、これは職員の定員管理を行いながら市立保育園定員の弾力化等の福祉、教育分野の市民ニーズに対応してきたためである。今後も、電算システムや民間活力の導入の際には経費の比較、時期・手法の検証を行い引き続き物件費の抑制に努める。
- 公債費:全国市町村平均は下回っているが、類似団体平均を2.9%上回っている。今後、新規借入の抑制や高利の地方債の借換等に取り組むことにより、類似団体平均を下回ることを目標とする。
- 補助費等:平成17年度から継続的に行ってきた補助金の見直しの結果、各平均値よりも低い状況となっている。今後も見直しを継続することで適正化を推進する。
- その他:繰出金については、対象事業費の増額に伴い連動してそれが増加となるものが割合を押し上げる一因となっている。特別会計等については、公益性・公共性の観点から自動努力経営を基本理念とし、収納体制の強化や交付金等の確保により一般会計からの依存体質の改善を図る。また、事業の見直しや人員配置の適正化によって繰出金の抑制が図れるものについては、今後も積極的に取り組んでいく。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析:類似団体と比較して数値が上回っている要因は、都市基盤整備等の先行取得及び財源として活用した債務負担支払・地方債の元利償還金が増加していることにある。今後、過去に借入れた地方債の償還がピークを迎えることから、直ちに費用の抑制を行うことは難しいが、新規の債務負担行為設定及び借入の抑制による後年度公債費負担の軽減や、高利の地方債の借換等に取り組むことにより改善を図り、実質公債費比率を平成21年度決算において17%以内の水準とする。

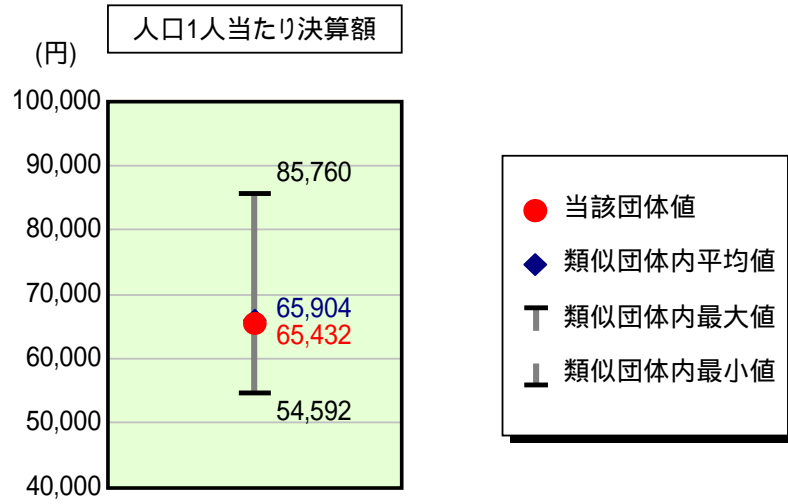
普通建設事業費の分析:第二清掃工場建設及びコミュニティー施設整備といった大型プロジェクトの事業完成に伴って、平成17年度以降普通建設事業費の総額は減少傾向にある。今後は、総合保健医療福祉施設や風早南部小学校移転整備、市立柏高等学校第二体育館等の大型事業が予定されているところから一時的な費用の増加はあっても、プライマリーバランスの黒字を維持し、やがて収支の改善に努める。



# 歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

千葉県 柏市

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



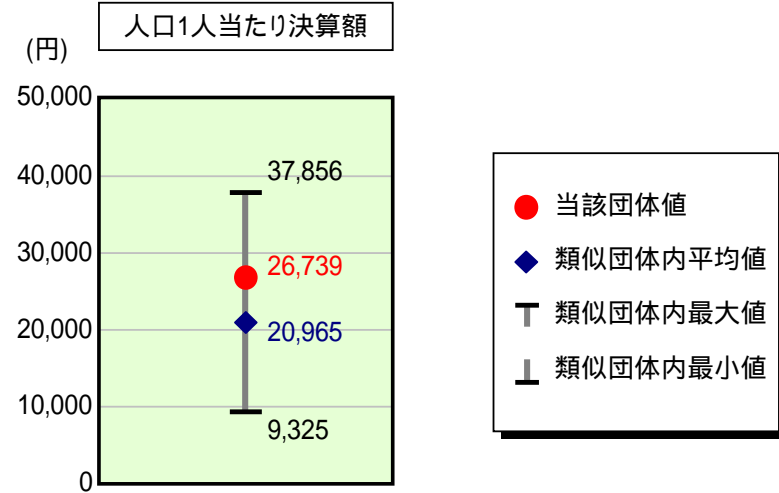
### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
人件費	24,407,743	63,895	64,657	1.2
賃金(物件費)	2,022,994	5,296	2,650	99.8
一部事務組合負担金(補助費等)	387,935	1,016	1,036	1.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	866	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	19	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	-	-	2,381	-
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	647,072	1,694	964	75.7
退職金	2,470,721	6,468	6,668	3.0
合計	24,995,023	65,432	65,904	0.7

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.59	6.27	0.32
ラスパイレス指数	101.8	101.3	0.5

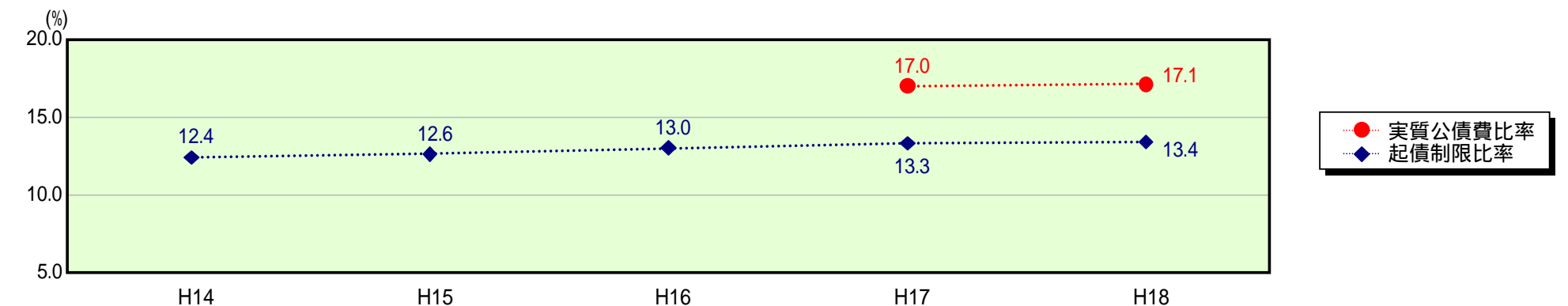
## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析



### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	12,595,284	32,972	29,599	11.4
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	38	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	3,223,974	8,440	7,761	8.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	564,568	1,478	1,296	14.0
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	1,224,450	3,205	2,458	30.4
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	7	-
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	7,393,934	19,356	20,194	4.1
合計	10,214,342	26,739	20,965	27.5

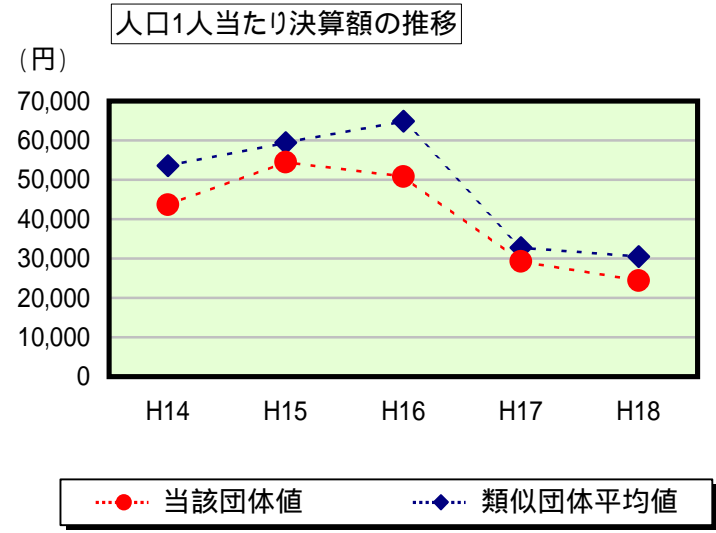
### 参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



# 歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

千葉県 柏市

## 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A) - (B)
H14	14,319,708	43,654	32.7	53,609	17.7	15.0
うち単独分	8,406,326	25,627	33.1	31,706	11.0	22.1
H15	17,880,875	54,433	24.7	59,458	10.9	13.8
うち単独分	9,409,262	28,644	11.8	28,349	10.6	22.4
H16	19,109,900	50,822	6.6	64,903	9.2	15.8
うち単独分	10,614,500	28,229	1.4	30,994	9.3	10.7
H17	11,057,540	29,231	42.5	32,735	49.6	7.1
うち単独分	7,443,060	19,676	30.3	23,112	25.4	4.9
H18	9,310,285	24,373	16.6	30,496	6.8	9.8
うち単独分	7,048,576	18,452	6.2	20,327	12.1	5.9
過去5年間平均	14,335,662	40,503	14.7	48,240	10.8	3.9
うち単独分	8,584,345	24,126	11.8	26,898	10.0	1.8